

デザインと環境で世界をリードする

高橋カーテンウォール工業株式会社

2024年12月期
決算説明会資料

代表取締役社長：高橋 武治

☆ 説明会の動画は[こちら](#)

2025年2月12日

目次

1. 事業内容
2. 2024年12月期 連結決算概要
3. 2024年12月期 説明詳細
4. 各事業の今後
5. 2025年12月期 連結通期予測
6. 当社の資本効率について
7. 配当の基本方針と推移

1. 事業内容

事業内容 基本情報

会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社

創業 1951年（昭和26年）

従業員数 192名（男性143名・女性49名）2024年12月現在

経営陣
代表取締役社長執行役員 高橋 武治
取締役上席常務執行役員 高橋 宗敏
社外取締役 小出 斉
常勤監査役 中西 博之
監査役（社外） 中川 康生
監査役（社外） 吉見 芳彦

事業内容
プレキャストコンクリートカーテンウォールの設計・製造・施工
建築用プレキャストコンクリート部材【N認定】の設計・製造・施工
水施設・水空間・水環境の企画・提案・設計・施工

事業所 本社：東京都中央区日本橋 大阪支店：大阪市北区中之島

生産拠点



茨城県結城郡八千代町



茨城県筑西市西山田



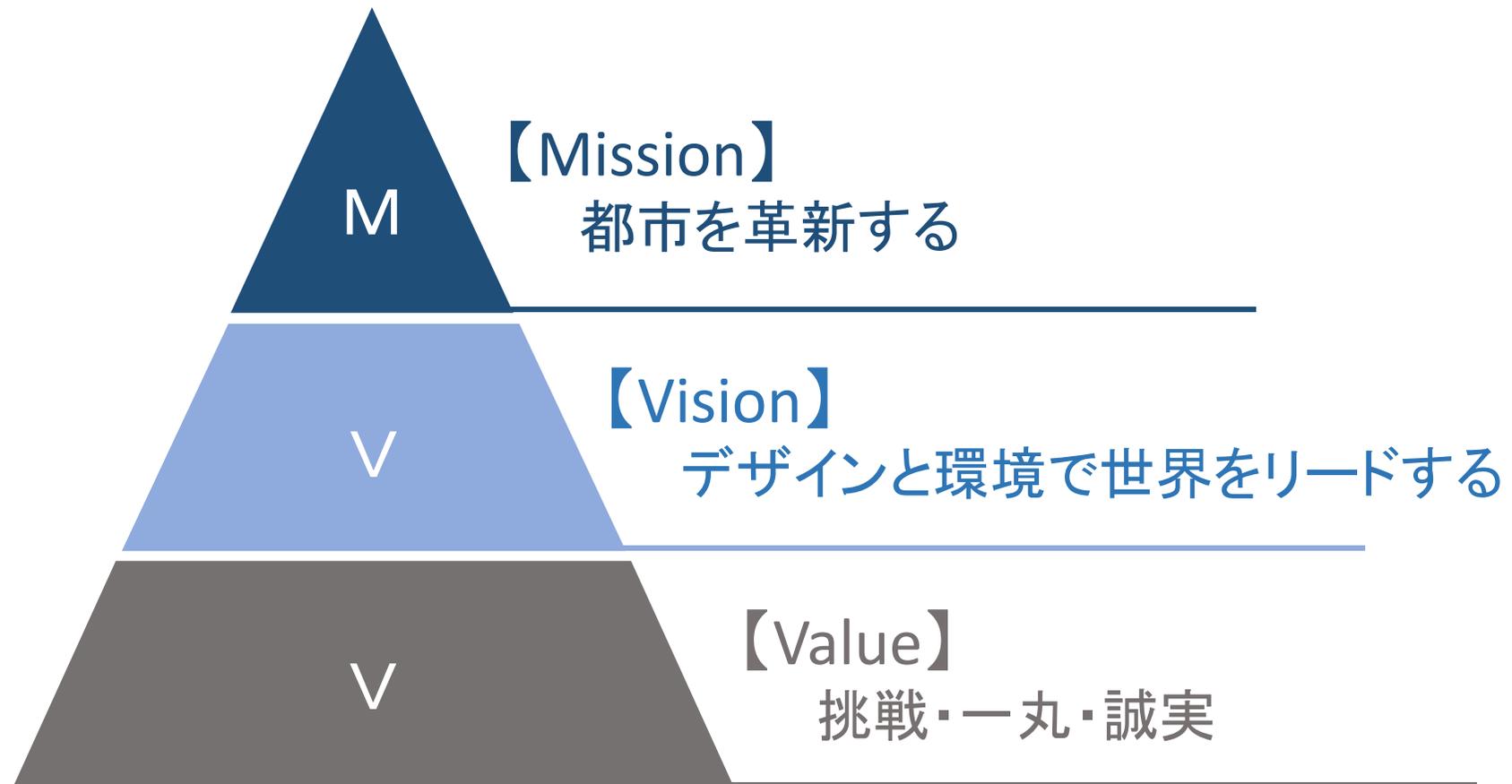
滋賀県甲賀市信楽町

事業内容

私たちのミッション・ビジョン・バリュー

経営理念

【全従業員の物心両面の幸福を追求し、社会の進歩発展に貢献する】



2つの事業セグメント



① PCカーテンウォール



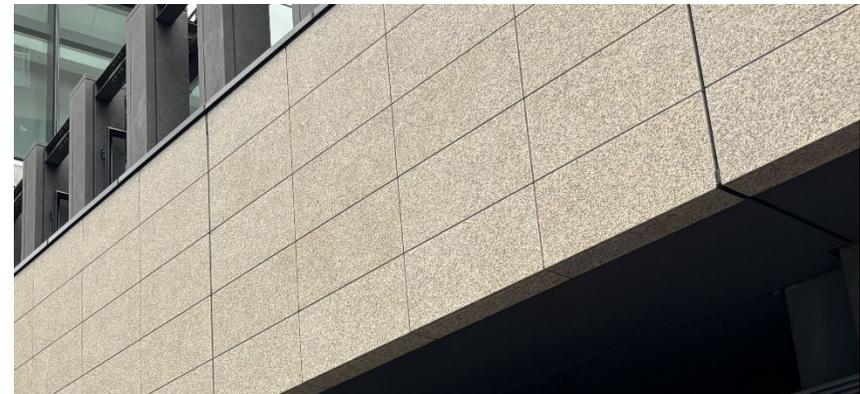
大阪歯科大学 看護学部



菱華ビルディング

① PCカーテンウォール

個性的なコンクリート製の外壁を提供することによって現場の省力化を助け、自在な形状や様々な表情で街を彩ります

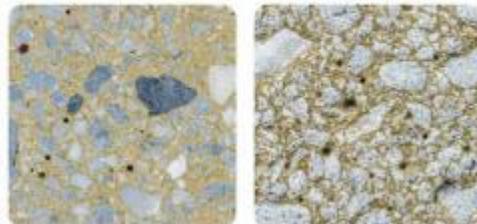
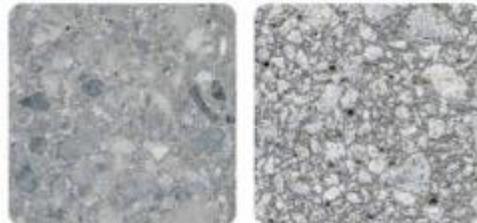
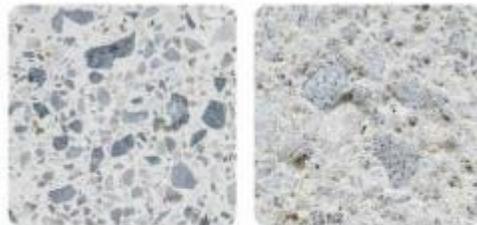


① PCカーテンウォール

独自性の高いヒット製品：「アーキテクチュラルコンクリート」

自然石の風合いをコンクリートで表現したPCカーテンウォール

表面加工例



研ぎ出し

サンドブラスト

研ぎ出し

コンクリート表面を平滑に研磨し、骨材などを露出させる手法。

サンドブラスト

砂を高速度でコンクリート表面に吹付ける仕上げ。

その他のラインナップ



ビシャン風



チェーン引き



エイジング



洗い出し

① PCカーテンウォール

アーキテクチュラルコンクリートの 施工事例



都内大学



同じ細骨材を使用しても表面加工で大きく見た目が変わる
当社Webサイト「Simulator」よりご確認できます

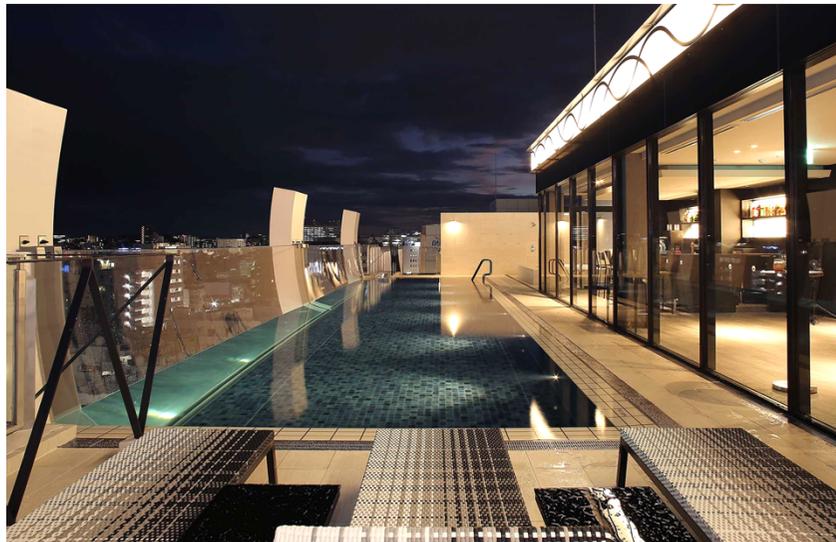
② アクア施設



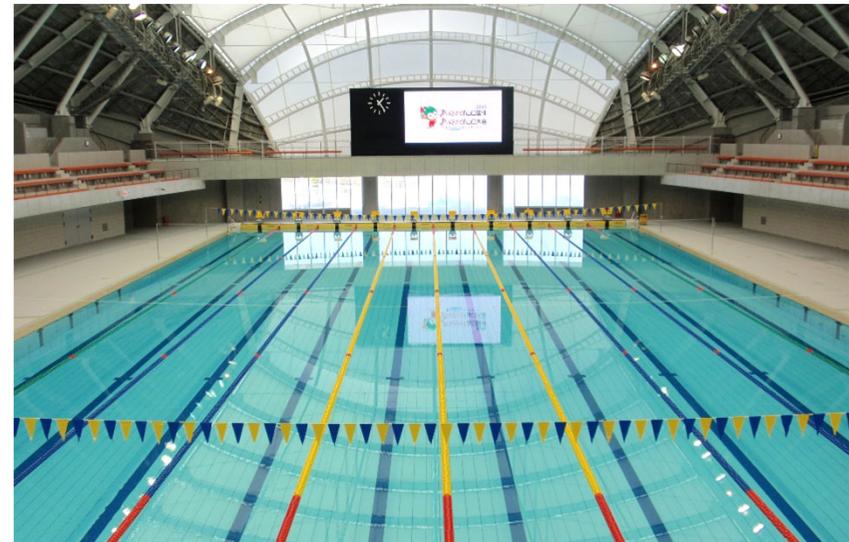
② アクア施設

プールや水盤を中心とした水施設のコンセプトや計画を
提案設計から施工・監理までをトータルに実施

ホテルプール



競技用公認プール



② アクア施設

大ヒット機能：「可動床」

ボタンひとつでプールの床面を昇降させ利用目的に適した水深に変えることが可能。可動床面を分割したり、水深 0 mまで上昇させ床面に人工芝を敷くことにより、多目的な陸上スペースとして使用することも可能。



2分割可動床



安城市スポーツセンター

利用する身長によって深さを変えられる可動床システムを採用

場所 愛知県安城市

仕様 2.5mプール

ステンレス製タイル仕上

2分割可動床

② アクア施設

水難救助訓練用プール、水盤の施工事例



西宮消防署

場所 兵庫県西宮市
仕様 ステンレス製無塗装仕上
水難救助訓練用プール



虎ノ門ヒルズビジネスタワー

場所 東京都港区
仕様 水盤
ステンレス防水工事



2. 2024年12月期 連結決算概要

2024年12月期の総括

【単位:百万円】

	2023.12 決算	2024.12 決算	通期 増減額	通期 増減率
売上高	7,332	9,383	+ 2,051	+ 28.0%
営業利益	355	593	+ 238	+ 66.9%
営業利益率	4.8%	6.3%	+ 1.5%	
経常利益	448	671	+ 223	+ 49.7%
経常利益率	6.1%	7.2%	+ 1.0%	
当期純利益	302	372	+ 70	+ 23.4%
当期純利益率	4.1%	4.0%	- 0.2%	

※
翌期の赤字見通しを受けて
法人税等調整額が増加した
ため

2024年12月期の売上・営業利益 概況

【売上高】

9,383百万円

前期比較

+28.0% (+2,051百万円)

【営業利益】

593百万円

前期比較

+66.9% (+238百万円)

【売上高】

- ・PCカーテンウォール事業
東京、大阪共に工程が順調
- ・アクア事業
プール堅調に加え保守メンテが増加

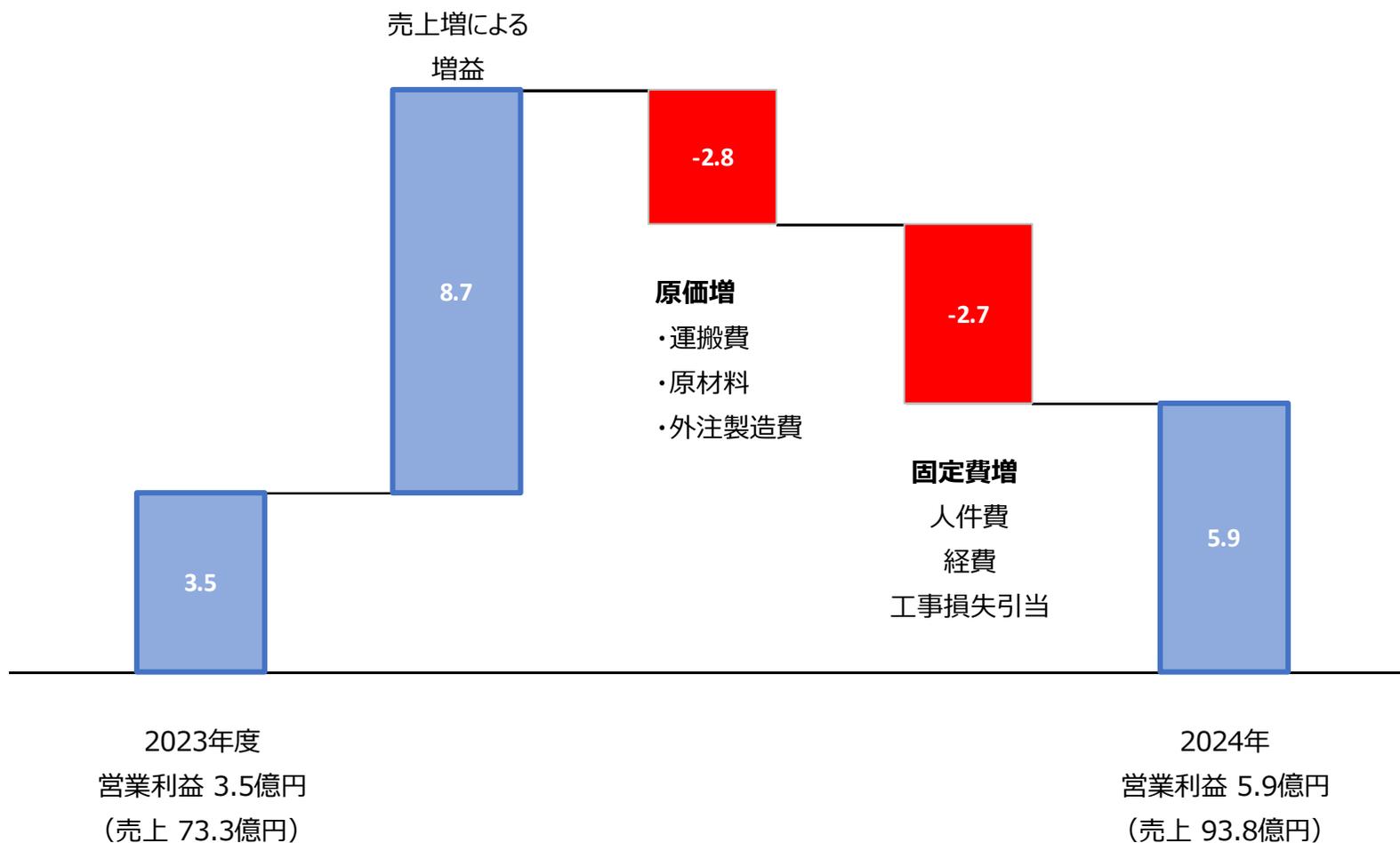
【営業利益】

売上の増加に伴い、増益となった

3. 2024年12月期 説明詳細

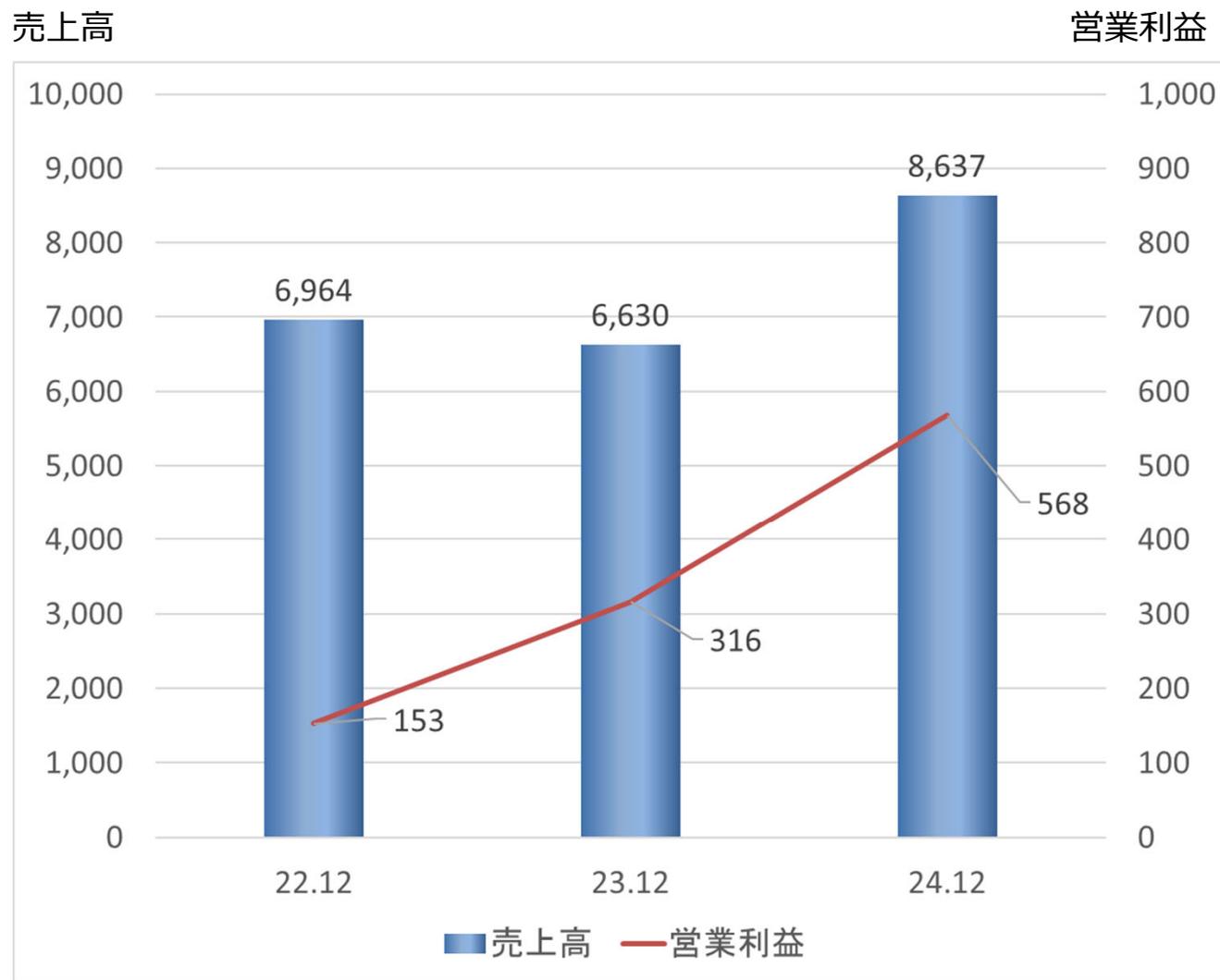
2024年12月期 利益変動分析

単位：億円



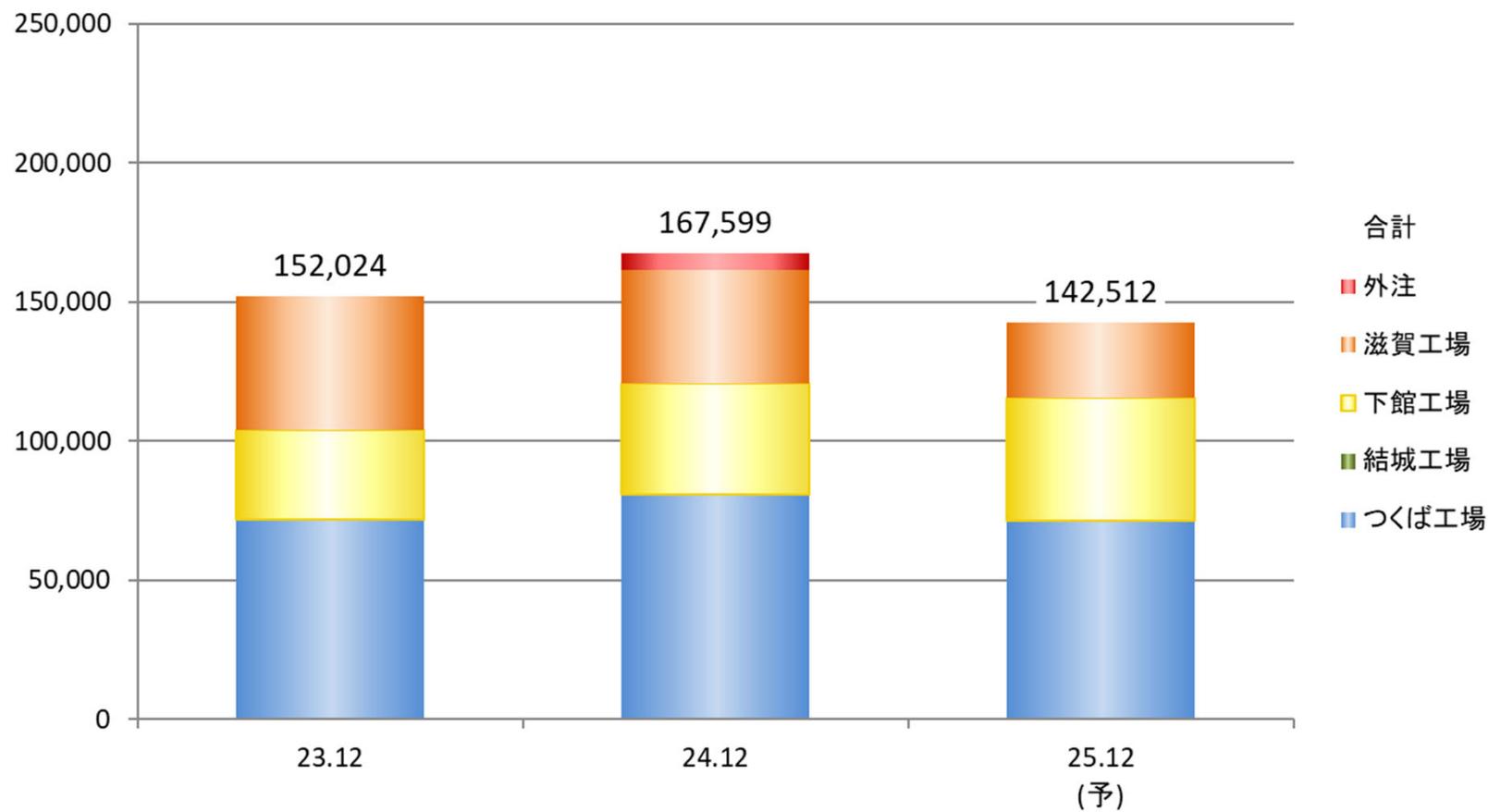
セグメント別売上高・利益推移 【① PCカーテンウォール】

(単位：百万円)



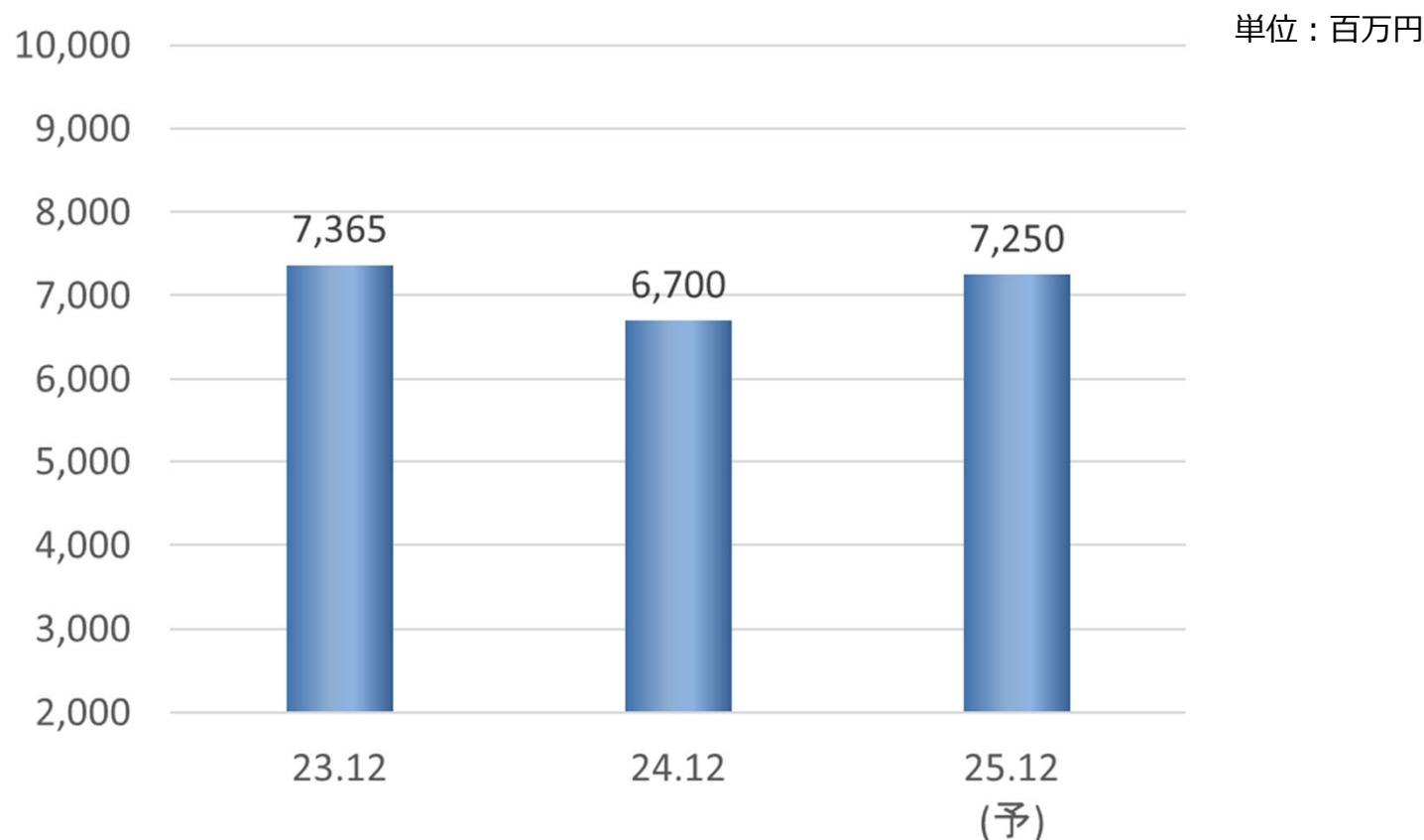
工場別生産量推移【① PCカーテンウォール】

単位：㎡



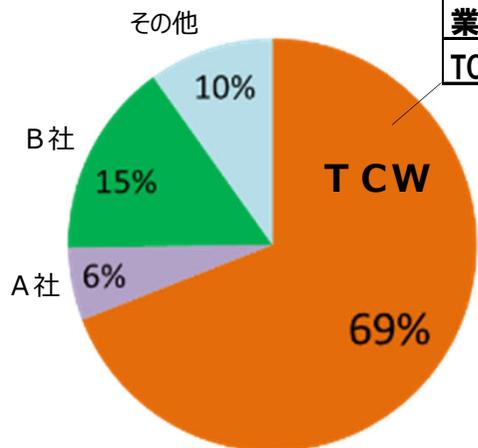
受注高推移 【① PCカーテンウォール】

- 2024年度は、急速なインフレで延期・中止になるプロジェクトが多発。
- 2025年は大型物件の受注が期待され、受注高回復見込み

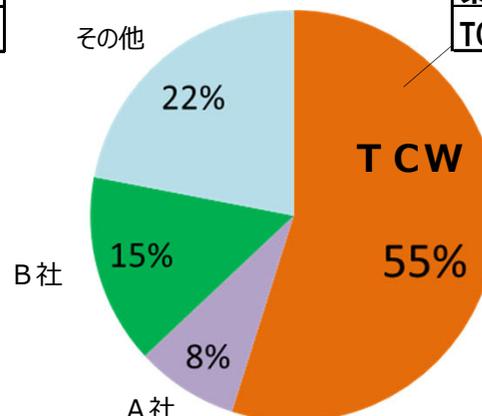


TCW全国マーケットシェア（2023-2024年）

2023年

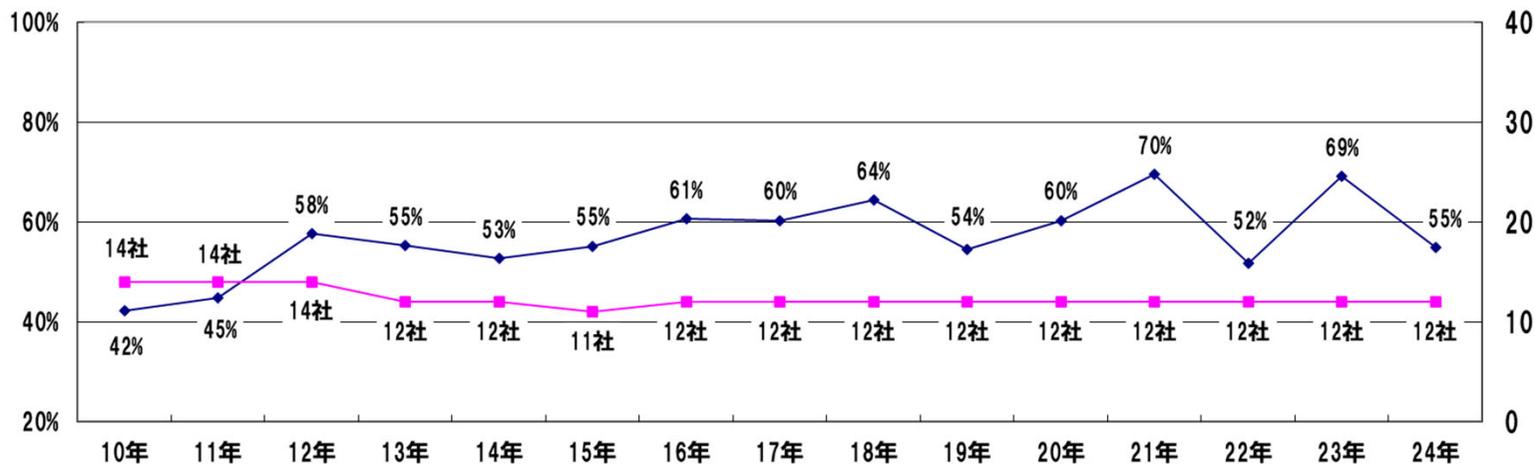


2024年



マーケットシェア

PCSA会員数

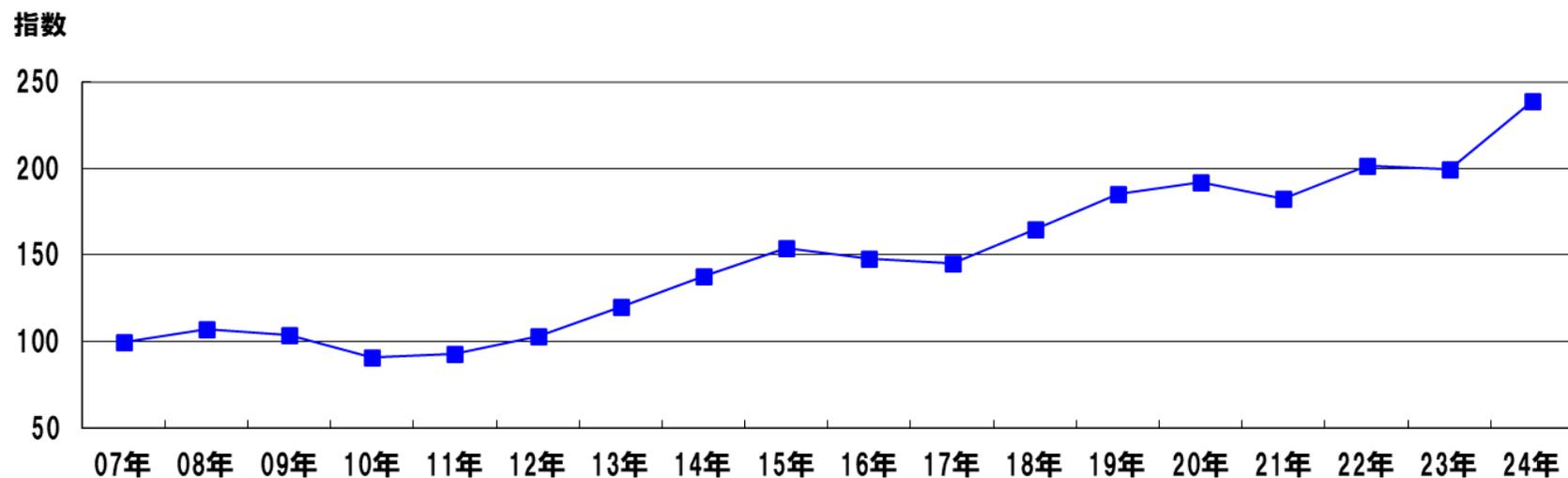


TCWマーケットシェア PCSA会員数

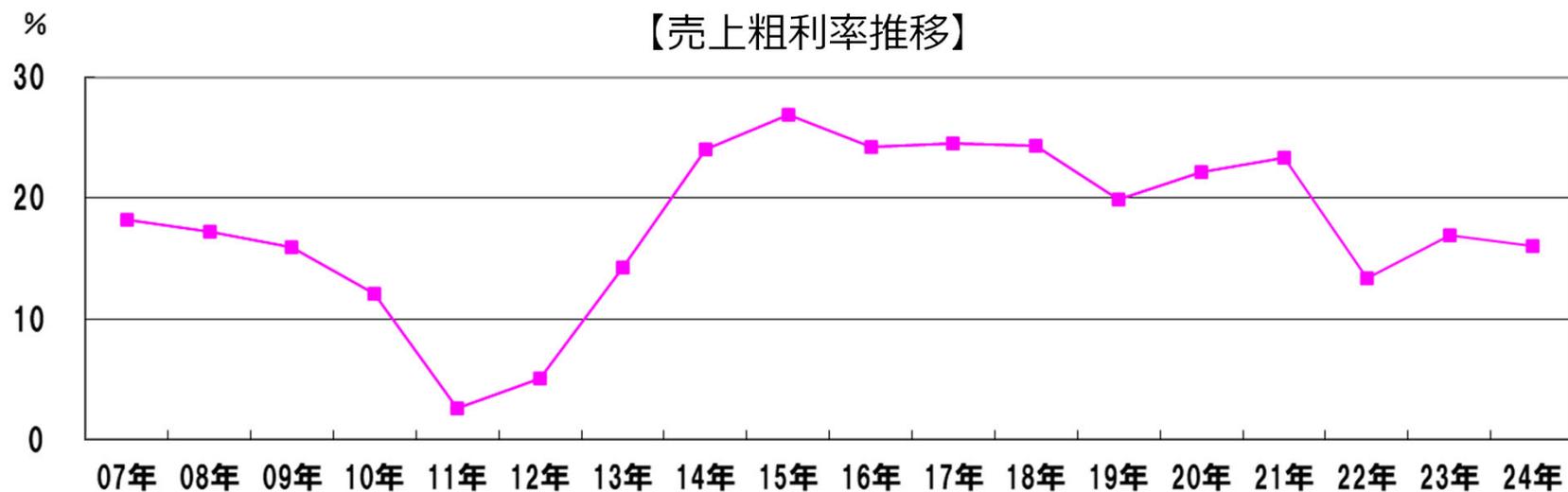
※ PCSAマーケティング部会集計値

TCW受注単価・売上粗利率推移

【受注単価推移】



【売上粗利率推移】

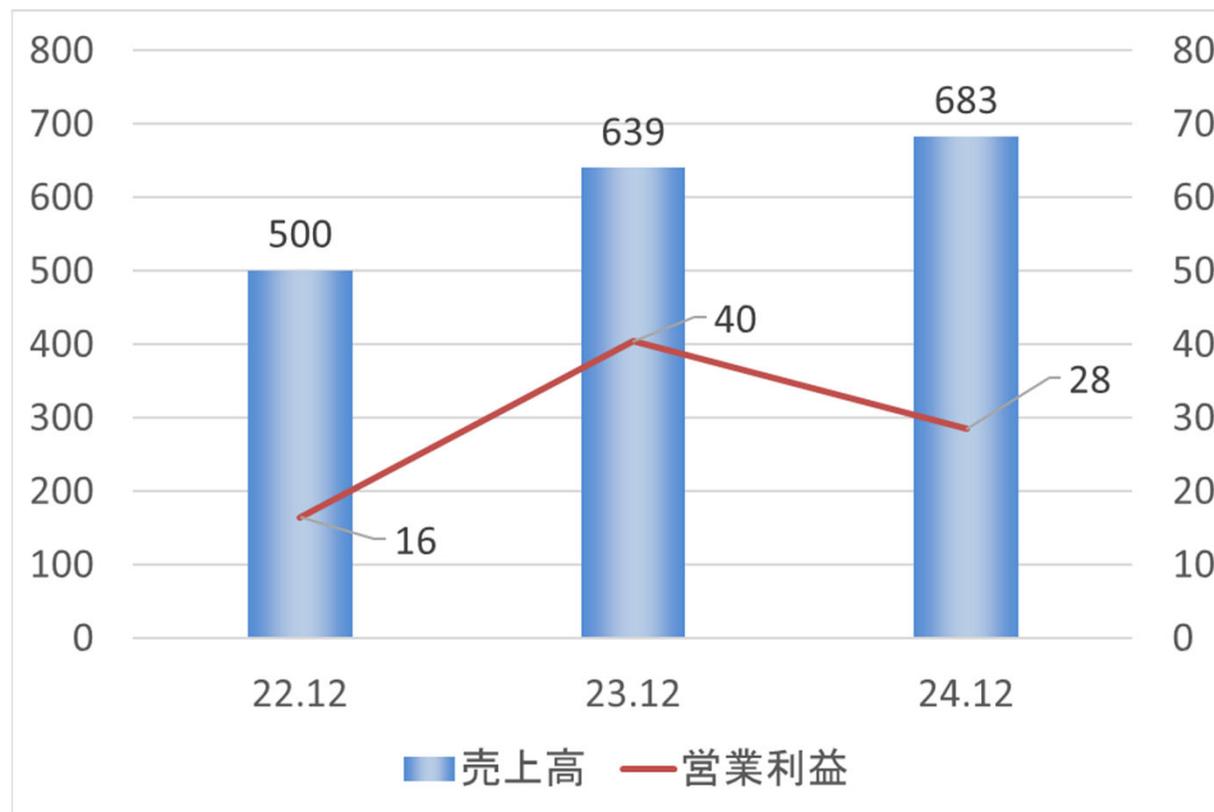


セグメント別売上高・利益推移 【② アクア施設】

単位：百万円

売上高

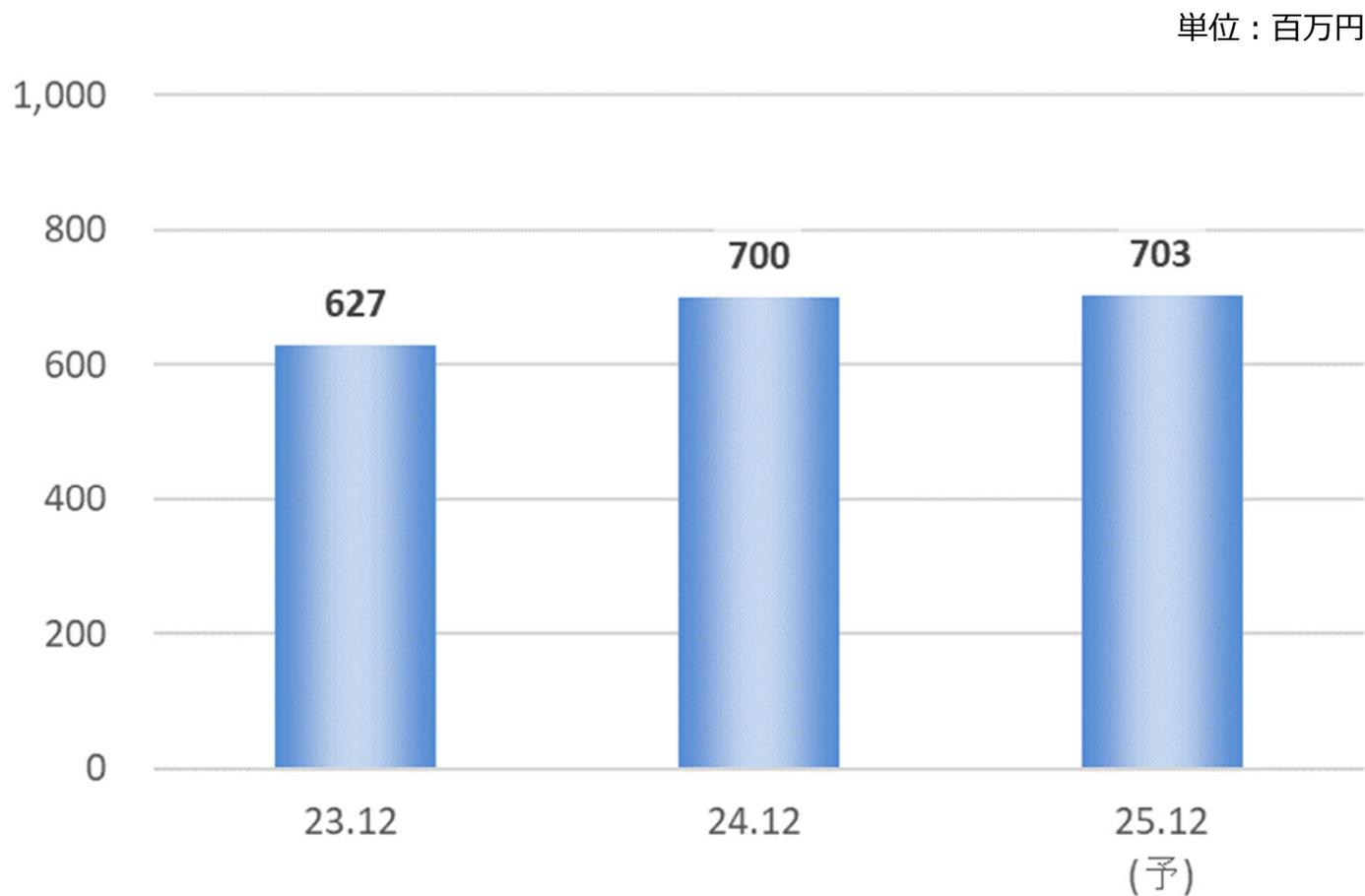
営業利益



受注高推移【② アクア施設】



- 大手のプール事業撤退や、当社の信用力の高まりで受注が増える



4. 各事業の今後

業界のトレンド 【① PCカーテンウォール】

- ・インフレ局面により顧客のコスト感覚がよりシビアに
- ・働き方改革の影響で工期が長期化

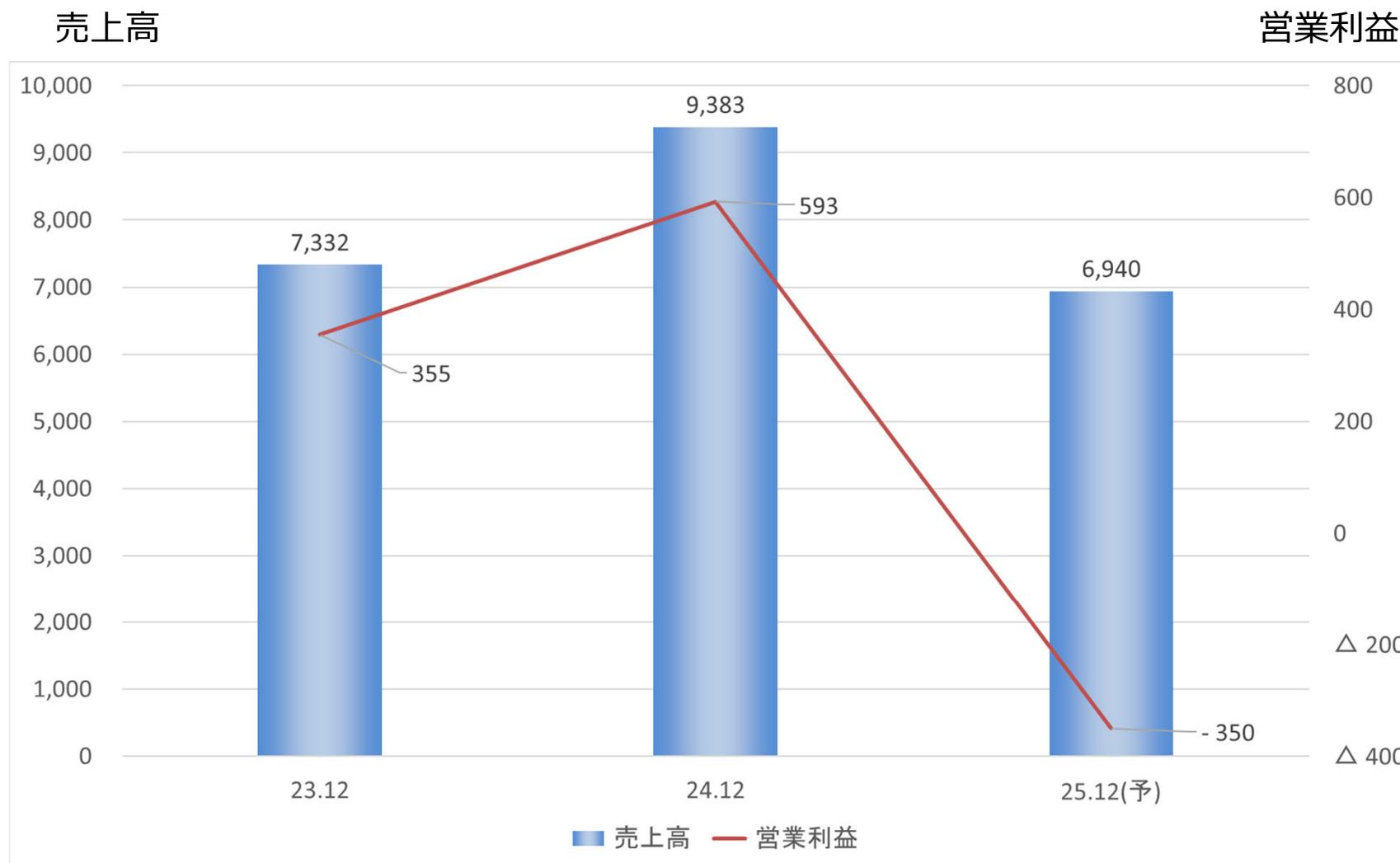
業界のトレンド 【② アクア施設】

- ・ 競合企業施工済物件のメンテナンス、リニューアル工事を担う
- ・ FRP素材のプールメーカー撤退により、ステンレスプールへの引合いが増加
- ・ 新たにプール→スケートリンクへの転換工事を受注した
(10月完工 売上8.4百万円)

5. 2025年12月期 連結通期予測

2025年12月期 連結通期予測

単位：百万円



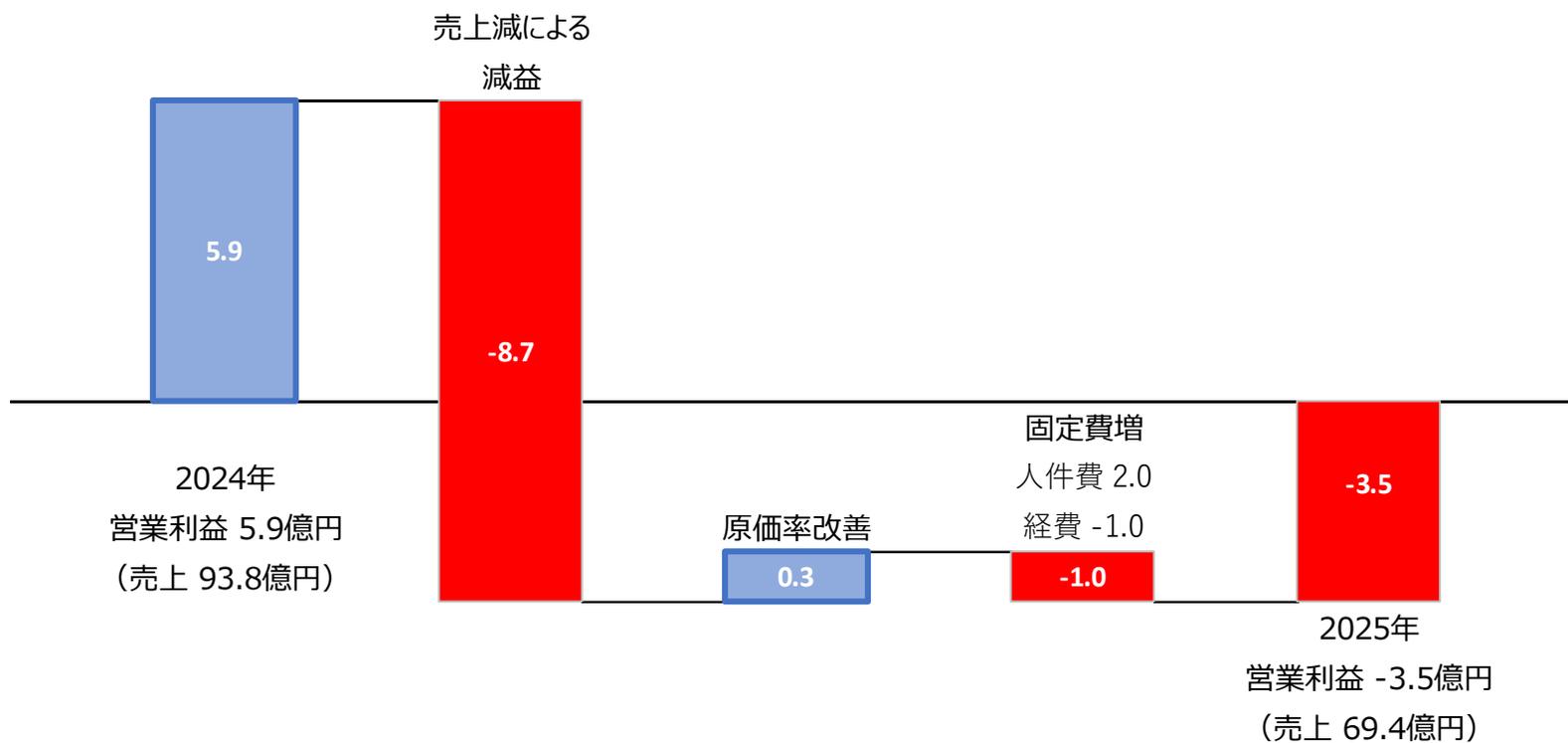
2025年12月期 連結通期予測

【単位:百万円】

	2024.12 決算	2025.12 通期予測	上期	下期	通期 増減額	通期 増減率
売上高	9,383	6,940	3,480	3,460	△ 2,443	- 26.0%
営業利益	593	△ 350	△ 185	△ 165	△ 943	- 158.9%
営業利益率	6.3%	-5.0%	-5.3%	-4.8%	- 11.4%	
経常利益	671	△ 310	△ 170	△ 140	△ 981	- 146.1%
経常利益率	7.2%	-4.5%	-4.9%	-4.0%	- 11.5%	
当期純利益	372	△ 320	△ 175	△ 145	△ 692	- 185.9%
当期純利益率	4.0%	-4.6%	-5.0%	-4.2%	- 8.6%	

2025年12月期 利益変動分析

単位：億円



2025年12月期 受注と売上の相関

PCカーテンウォール事業の受注規模（㎡）と製造、施工時期

（単位：㎡）

		2024年	2025年	2026年	2027年以降
2024年受注残	299,281	167,599	87,682	44,000	
2025年見込案件	174,830		54,830	84,000	36,000
2026年見込案件	213,000			43,000	170,000
年度計（㎡）		167,599	142,512	171,000	206,000
売上高（百万円）		8,637	6,180		

2025年、2026年は現在引合中の見込案件
近年の受注契約は成約が早いものの、物件の着工が遅い傾向

2025年 当社での出来事

【ポジティブな側面】

- デザイン・環境のニーズに応えるために、研究してきた組成のコンクリート製品が売れ始めている
- ホタテ貝殻砂を使用した外壁の製造
- 人材採用が順調、新卒・中途で17名（2024年）

2025年 当社の直面するチャレンジ

- インフレ環境下で顧客の要求金額がよりシビアになり、多数の物件が延期または中止
→こうした環境下で適切な価格で受注し、
PC外壁以外のコンクリート製品の受注にも力を入れる
- 収益源を多様化して収益額の増大を目指す

6. 当社の資本コストについて

当社の資本効率を意識した経営

WACC（加重平均資本コスト）は、企業が資本を効率的に活用しているかの指標です

	WACC	ROIC	差
2023年	6.1%	2.6%	3.5%
2024年	5.7%	3.8%	1.9%

(WACCはCAPM方式による当社算出値)

引き続き資本効率の向上を目指して
取り組んでまいります

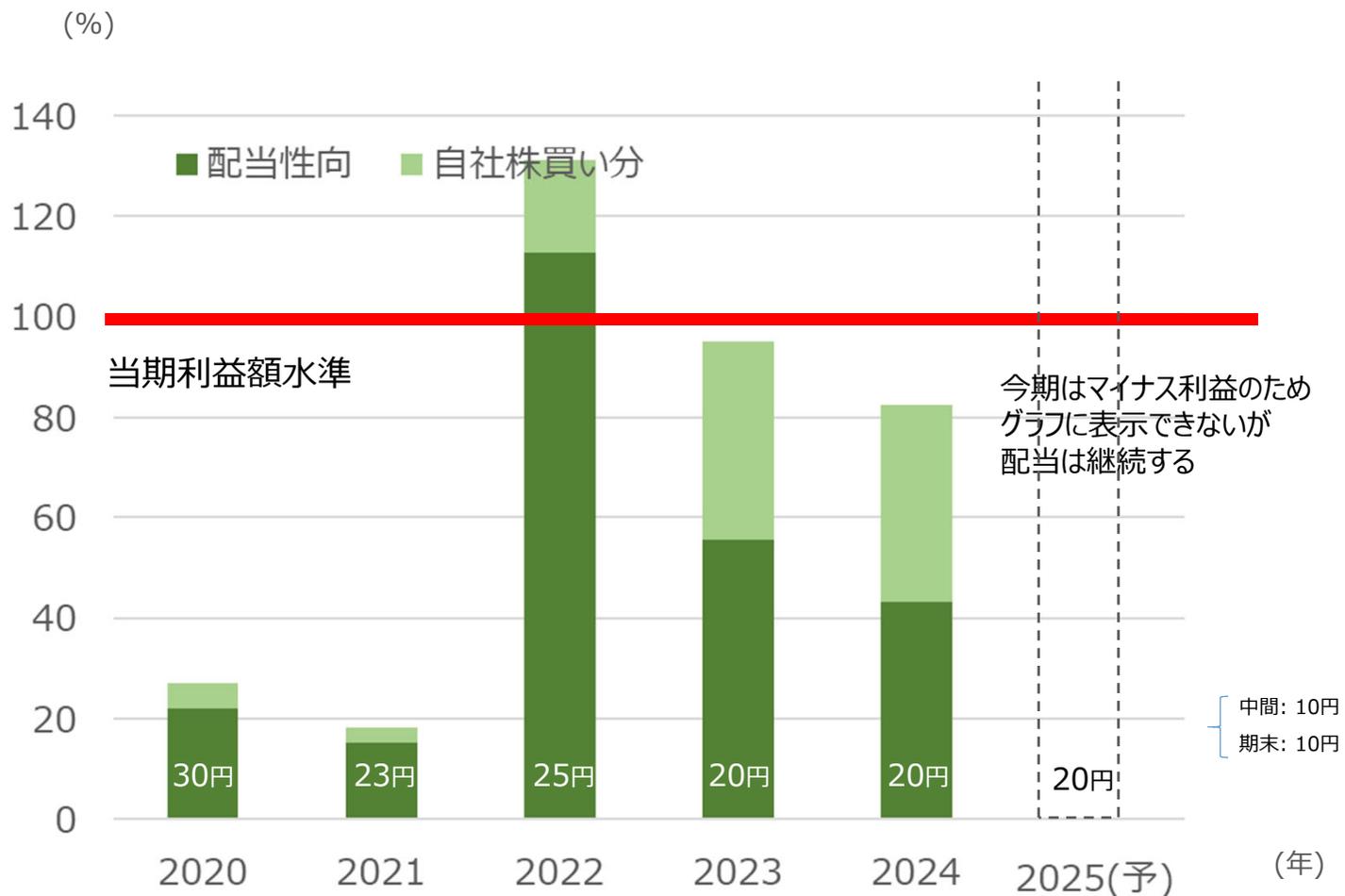
7. 配当の基本方針と推移

配当の基本方針と総還元性向の推移

配当方針

年間20円/株以上の継続 (中間10円+期末10円)

総還元性向
の推移



TCW

【見通しに関する注意事項】

本資料に掲載されている中で、下期の予測あるいは今後の見通し等が含まれていますが、実際の結果は様々な要因により記述内容と大きく異なる可能性があります。